

(別紙)

令和6年度「地域課題の解決に向けた協働推進事業」の実施状況・計画
(R6.11月末現在)

事業名	屋久島における生物多様性保全事業	
実施主体	団体名	特定非営利活動法人 HUB&LABO Yakushima
	県担当課	自然保護課
事業目的	1. 屋久島の多様な生物の生息環境を、海辺を中心とした水域全体から把握する（下流域、干潟磯、海域）。 2. 河川流域の全体の調査にて把握した生物同士のつながりから生物多様性の重要性を示すデータを収集する。 3. 事業終了後も生物多様性をより深く島民に伝えられるよう、オープンデータの作成と上記調査を自分たちでできる地域コミュニティネットワークを構築する。 4. 屋久島島民に生物多様性の重要性の普及啓発を行うと共に、環境省との連携を図り水辺の希少種保全と外来種駆除の意識を高める。	
実施状況及び今後の計画		
【実施状況】		
1. 海辺を中心とした水域の生物多様性講座及びプロジェクト説明会 日時：8月1日（木）15：00～16：30 内容：本事業の趣旨を理解する 生物多様性の意義を知る 開催場所：安房公民館 講師：浜本 麦氏（NPO 法人くすの木自然館） 中村 幹氏（NPO 法人うみがめ館） 参加者：17名		
2. 調査方法指導講座 日時：8月2日（金）10：00～12：00 内容：調査方法の概要を学ぶ 収集データの整理方法を学ぶ 調査を行う意義・意味を理解する 開催場所：春田浜海水浴場周辺 講師：浜本 麦氏（NPO 法人くすの木自然館） 中村 幹氏（NPO 法人うみがめ館） 参加者：15名		
3. 夏の生物調査及び収集データ整理 日時：8月2日（金）10：00～16：00 8月3日（土）9：00～12：00 内容：水辺の生物調査（底生生物：干潟・磯・湿地、魚類：海域、河川生物） 収集データの整理を行う 調査を行う意義・意味を理解する		

開催場所：春田浜海水浴場周辺
講師：浜本 麦氏（NPO 法人くすの木自然館）
中村 幹氏（NPO 法人うみがめ館）
参加者：15名

4. 秋の生物調査及び収集データ整理

日時：10月30日（金）10:00～19:30
10月31日（土）10:00～17:00
内容：水辺の生物調査（底生生物：干潟・磯・湿地、魚類：海域、河川生物）
収集データの整理を行う
調査を行う意義・意味を理解する
開催場所：春田浜海水浴場周辺
講師：浜本 麦氏（NPO 法人くすの木自然館）
中村 幹氏（NPO 法人うみがめ館）
参加者：8名

【今後の計画】

1. 調査内容の報告会及び水辺の生き物観察会

日時：1月27（月）14:00～16:30
18:00～19:30
内容：一般住民に向けた夏・秋の調査報告
水辺の生き物観察会
開催場所：安房公民館及び春田浜海水浴場周辺
講師：浜本 麦氏（NPO 法人くすの木自然館）
中村 幹氏（NPO 法人うみがめ館）
募集：どなたでも

2. 冬の生物調査及び収集データ整理

日時：1月28日（火）10:00～16:30
1月29日（水）10:00～12:00
内容：水辺の生物調査（底生生物：干潟・磯・湿地、魚類：海域、河川生物）
収集データの整理を行う
調査を行う意義・意味を理解する
開催場所：春田浜海水浴場周辺
講師：浜本 麦氏（NPO 法人くすの木自然館）
中村 幹氏（NPO 法人うみがめ館）
募集：どなたでも

3. 屋久島における生物多様性保全調査結果のまとめ及びオープンデータの作成

期間：1月30日（水）～2月12日（水）
内容：夏・秋・冬の調査結果をまとめた定量的なオープンデータを作成する
希少生物や外来種の現状について周知するパンフレットを作成し、島民へ配布

※ 参考となる資料（チラシ等）がありましたら添付してください。